

大学 ジャーナル

FREE

vol.167 7月号

第31巻3号・通巻167号

大学生になっても読んでほしい

発行所：くらむほん出版 〒531-0071 大阪市北区中津1-14-2

TEL06(6372)5372 FAX06(6372)5374

E-mail KYA01311@nifty.com

大学ジャーナル

UNIVERSITY JOURNAL

ONLINE

http://univ-journal.jp

公式 Instagram で
最新情報を発信中！

Highlight

- 03 雑賀恵子の書評
シン・アナキズム
世直し思想家列伝
著者 重田 園江
- 04 「探究」の現場から その12
**「AIエージェント」の爆発的な普及は
教育現場をどのように変えるのか**
秋田県立横手高等学校 教諭 瀬々 将吏 さん
16歳からの大学論 第50回
勉強思考、学問思考
京都大学 学際融合教育研究推進センター 准教授 宮野 公樹 先生
- 05 AI for Social Science 京都産業大学 法学部
**AI時代の社会に、
どんなルールを創るのか**
新しい問いに向き合う“新領域法学”の挑戦
京都産業大学 法学部 助教 来住南 桃 先生
- 06 デキル！学部(学環)東京都市大学「創発デザイン工学環」
工学×デザイン
「作る力」と「考える力」を兼ね備えた
クロスオーバー人材を育成
- 08 創英ゼミナール／東進衛星予備校
**学年別 おすすめの夏休みの過ごし方
／大学入試選抜方式まるわかり表！**
- 10 大学ランキングからはわからない大学の實力 第15回
**大学で「be動詞」「小・中学校レベル
の数学」を教えて何が悪い**
教育ジャーナリスト 小林 哲夫 さん
杜の都の西北から 第11回
「掃除」してますか？
ボランティア先進県と山形西高等学校の「全員清掃」
(学)東北文化学園大学評議員・大学事務局長、
弊誌編集委員 小松 悌厚 さん
- 11 **START LINE PITCH 2026**
近畿大学 高校生ビジネスアイデアコンテスト
今夏いよいよ開幕！
近畿大学 常任理事・経営戦略本部長 世耕 石弘 さん ×
i情報経営イノベーション専門職大学 副学長 古賀 稔邦 さん



読者プレゼント 167号

**『東大理三
の世界』**東大理三生は本当に「宇宙人」なのか。
教育ジャーナリスト 庄村敦子氏が、
長年の取材をもとに、学生生活、
家庭環境、恋愛・結婚、卒業後の
進路まで、知られざる“日本一の
天才集団”の素顔に迫る一冊。**10名様にプレゼント**ご希望の方は右記QRコードより
お申し込みください。

応募締切：7/31

著者：庄村敦子 / ダイアモンド社



多くの日本の高校生に感銘を与え続ける
スタンフォード大学のハートフルネス授業。
その感動を今、日本のすべての高校生に

スティーブン・重松

Profile

ハーバード大学大学院にて教育学博士号を取得。東京大学助教授を経て、20年以上にわたりスタンフォード大学で教鞭を執る。教育、心理学、人文学を横断する革新的な教育プログラムの開発に取り組み、学生一人ひとりが自分らしい生き方や社会との関わり方を探究する学びを実践してきた。スタンフォード大学優秀教員賞受賞。主な著書に『スタンフォード大学マインドフルネス教室』『スタンフォード式 最高のリーダーシップ』『スタンフォードの心理学授業 ハートフルネス』『スタンフォード大学 いのちと死の授業』などがある。

スティーブン・重松からの ハートフルネスで あるための 8つの箴言

プロローグ スタンフォードの影 —— 完璧主義という病理

スタンフォード大学のキャンパスは、世界で最も優秀とされる若者が集う場所の一つである。しかし、その輝かしい光の裏で、多くの学生が深刻な精神的危機に直面している。この現象を、アヒル症候群と呼ぶ。水面に浮かぶアヒルを想像してほしい。水面上では、周囲の景色に溶け込み、涼しい顔をして優雅に泳いでいる。しかし水面下では、沈まないように必死で足を動かし続けているのである。

学生たちも同様だ。彼らは失敗してはならない、常に正しい選択をしなければならないという強迫観念に縛られている。周囲に対しては、自信に満ちた完璧な自分を取り繕う。だが、その内面は、不安と恐怖で張り裂けそうになっているのだ。この病理は、一部のエリート学生だけのものではない。現代社会

に生きる多くの若者が、同様の重圧に晒されている。他者が定義した正解や評価基準に依存し、与えられた解答をなぞることに終始する。完璧を装うことに汲々とするあまり、自律的な問いが消失している。不完全さの中に宿る、人間としての独自性を見失っているのである。

1 正解主義からの脱却を —— 答を外部に求めない



人生において、あらかじめ用意された唯一の正解など存在しない。しかし、既存の教育システムは依然として、既成の正解をいかに速く、正確に導き出すかを競わせている。正解を探し求める態度は、自ら問いを立てる力、すなわち自律的な思考の放棄につながる。

以前、私の授業を受けた日本の学生が「私たちは何のために生きているのでしょうか」と尋ねてきた。私が「実は僕も知らないよ」と答えると、彼女はひどくがっかりした。「先生でも知らないなんて」という落胆である。

しかし、彼女は自ら考え、こう気づいた。「先生が言いたいのは、人生は他の誰かに決めてもらうものではなく、自分でしか決められないものだということだ」と。正解を他者に求めるのを止めた彼女は、驚くほど心が軽くなったと語ってくれた。

真の学びとは、単に知識を詰め込むことではない。既成の正解主義から脱却し、不確実な世界で自分なりに意味を紡ぎ出すことである。そのためにはまず、自分自身が正解を持っていないという事実を謙虚に認める必要がある。

そのために最も大切なこと—— 謙虚さの共有

謙虚さとは、ただ人間であることを認めることだ。私たちは驚くべき存在であり、素晴らしい成果を生み出し、他者を深く思いやることができる。その一方で、私たちの知性には限界があり、ときには恐ろしい行為をしてしまう可能性がある。謙虚さとは、その双方を認めることだ。自分たちの知性を尊重しながら、同時に勇気をもって自分たちの無知を認める。

それは、自分を卑下することではない。そうすることで初めて、私たちは学びに対して開かれていく。

私がスタンフォードの教室で実践してきたのは、教員としての権威を手放すことだ。教員は唯一の正解を知っている完璧な存在として振舞ってはならない。指揮者のレナード・バーンスタインは「教えることと学ぶことは一体である」と語った。私にとっても、教えることと学ぶことは常に同時に起こる。私は、自分が知っていることを教える。それ以

上でも、それ以下でもない。私は正解を持つ教授としてではなく、一人の不完全な人間として学生の前に立つ。教員自身が自分も正解を持たないと謙虚に認めることで、教室から不必要なヒエラルキーが消える。同時に、学生たちの中から間違えたら恥ずかしいという強烈な恐れが消え去るのである。この謙虚さの共有こそが、他者の顔色をうかがう正解主義から脱却するための第一歩となる。



2 ヴァルネラビリティ (vulnerability) —— 弱さをさらけ出す勇気



人間は知性だけで生きているのではない。そこで私は、互いに心の通い合うハートフルネスという概念を提唱している。これは、マインドフルネス、個による精神の統一を超え、他者への深い慈愛と、自らの行動に対する責任を統合した生き方と言ってもいい。

核心にあるのがヴァルネラビリティ。《傷つきやすさ》などと日本語では訳されるが、私はそれを弱さをさらけ出すことと言っている。弱さを見せることを敗北だと勘違いしてはならない。それは決して敗北ではない。自らの不完全さや傷を謙虚に認め、さらけ出す。それこそが真の強さの証なのである。

私の授業では、茶道の基本精神を取り入れている。伝統的な茶室の入り口は狭くて低い。そこに身をかがめて入ることは、自らの社会的地位、立場、そして自分を守るための鎧を脱ぎ捨て、一人の人間として自分をさらけ出すことを意味している。完璧であろうとする傲慢な鎧を脱ぎ捨て、ありのままの自分を受け入れたとき、私たちは互いに弱さを分かち合いながら、他者と本当に深く繋がることができる。



金継ぎの哲学 —— 傷跡こそが美しさである

日本の伝統的な修復技法である金継ぎを想起してほしい。割れた器を漆と金粉で繋ぎ合わせ、その傷跡を隠すことなく、新たな美として、その器の歴史として昇華させる手法である。これは人間にも当てはめることができる。完璧な、傷一つない人間など存在しないという意味では、人間も割れた器だからだ。そしてわれわれが負った傷、欠点、挫折の経験こそが、その人の独自性を形作るのである。

金継ぎの傷に埋め込まれているのは、痛みや苦しみだけではない。そこには、それを乗り越えようとした勇気、未来への希望、そして傷ついた時に他者から受けた親切も含まれている。

自分の不完全さを認め、それを受け入れることは、自分自身を深く愛すること、すなわちセルフコンパッション（Self-Compassion）の第一歩ともなる。欠けている部分があるからこそ、そこに光が差し込む。傷跡こそが、その人を唯一無二の存在たらしめる誇り高き象徴なのである。

3 全体性を回復しよう 半月のメタファー

人間は、一つの全体性として人生を始める。しかし、成長の過程で社会の偏見に晒されステレオタイプ化され、自己は次第に断片化していく。ある部分は闇に埋没し、自分自身の一部から切り離されてしまう。私は著書で、人種の異なる先祖を持つ人々のストーリーを書いたことがある*。その本の表紙には半月があしらわれている。社会は彼らをハーフと見るかもしれないからと。しかし、彼らは本来、完全な存在である。

われわれの内面には隠れた全体性が存在する。真の学びとは、社会的な役割や期待によって切り離された自分の一部を思い出し、再び受け入れ、統合するプロセスである。自らの内なる暗がりの部分やあいまいな影を排除せず、それらを直視することで、人は初めて本来の全体性へと還ることができる。暗がりを受け入れることで、私たちは初めて、本当の意味での光を知るようになるのだ。

*集英社新書「アメリジアンの子供たち—知られざるマイノリティ問題」



書くことによる癒やし

全体性を取り戻すための具体的な実践として、私は書くことを重視している。特に自分自身について、心の暗がりにまで足を踏み入れて書くことは心の癒やしにつながるが、近年の研究によって実証されている。しかも自らの内面に言葉を与え、外在化することは、精神的な安定だけでなく、免疫機能を向上させ、痛みを軽減させるなど、身体的な健康の増進にもつながるという科学的なエビデンスもある。

自分の物語を綴ることは、単に記録することではない。分裂した自己を再統合し、人生の意味を再構築するための、極めて実践的な自己治癒の行為なのである。自らの内なる声に耳を傾け、それを言葉にすることは、自分自身に対する責任を引き受けることでもある。書くことを通じて、私たちは自身の内なる真実と対話し、新しい自己へと変容していく力を獲得するのである。

4 ステレオタイプを 越える共感と涙 Compassion

社会は常に、特定の属性で人を分類しようとする。学生、教員、あるいは人種や性別といった枠組である。しかし、これらは社会が作り上げたステレオタイプに過ぎない。貼られたレッテルは、個人の複雑な背景を単純化し、本質を見えなくさせる。他者を理解する上で最も重要なのは、相手を文化集団の代表としてではなく、固有の人間として、謙虚に接することだ。



教室の中では、一人の人間としての切実な私的体験に耳を傾けてほしい。

人が自らの弱さや痛みを語るとき、聞き手は無意識に持っていた偏見を脇に置くことができる。他者の悲しみに触れたとき、安易な解決策を提示する必要はない。ただ、共にその場に留まることだ。

私の授業では、他者の悲しみに対して「あなたの涙は私の涙です」という態度で接することを大切にしている。共に泣き、痛みを分かち合う。その感情の共鳴が、2人を同時に悲しみから回復させるのである。憐れみによる同情ではなく、水平な関係で共に痛みを抱えること。このつながりがあれば、不完全な自分をさらけ出すための安全な居場所が生まれるのである。



5 新しい時代の リーダーシップを ——求められる3つの姿勢

正解がないと言われる現在、一部の人間が明確な答を掲げて他者を引っ張っていく従来のリーダーシップは機能しない。これからは、誰もが自ら考え、他者と共鳴しながら行動を起こすリーダーシップが求められる。その基盤となるのは、徹底した謙虚さと、対人関係における3つのシンプルな姿勢である。

第一に、I see you.相手の存在を認め、一人の人間として無条件に尊敬すること。

第二に、I am here.相手から教えを請い、学ぶために、謙虚にその場に留まり続けること。私はここにいて、あなたの声を聞

リーダー の 資質

- ① 自らの無知を認める
- ② 他者に心を開く
- ③ 弱さを開示する
- ④ 教えながら学ぶ謙虚さ

き、感じ、あなたから学んでいると。

第三に、I like you as you are.これは最も難しいことだが、不完全さを含め、相手のありのままの存在を肯定すること。

新しい時代のリーダーとは、すべてを知る万能の人間ではない。自らの無知を認め、他者に対して心を開き、弱さをさらけ出すことのできる人間である。

教えながら学ぶという謙虚な姿勢を持つとき、そこに真の相乗相互作用が生まれる。やはり謙虚さこそが、多様な人々を結びつけ、共通の目的へと向かわせる最大の力となるのだ。



対等な対話 —— アサーティブな姿勢で (assertive communication)

対人関係において、私はアサーティブという概念を重視している。多くの対話は、2つの極端な状態に陥りがちである。自分の意見を押し殺し、相手に合わせすぎるパッシブ、反対に、相手を攻撃し、打ち負かそうとするアグレッシブな状態である。しかし、私たちが目指すべきは、その真ん中にあるアサーティブな状態だ。これは、他者の意見を尊重しながら、自らの考えや感情も明確に表現するコミュニケーションのあり方である。

すなわち、I win and you winの関係性だ。自らの弱さを認め、謙虚に他者と向き合い、その上で、誠実に自分の言葉を伝える。こうしたアサーティブな姿勢こそが、個人の弱さを共有し合い、高いレジリエンスを備えたコミュニティを形成するには欠かせないものだ。互いの境界線を尊重しながらも、心と心でつながる。この対等な対話が、組織や社会に創造的な変革をもたらすのである。

6 失敗をどう活かすか ——Resilience 七転び八起きの精神



教育現場では失敗から学ぶことの重要性が叫ばれている。私のワークショップの終わりに、多くの学生が「失敗が多い自分でも、ありのままでいいのだと初めて感じた」と語ってくれる。映画『スター・ウォーズ』の中で、マスター・ヨーダは弟子のルーク・スカイウォーカーにこう語りかける。「これまで学んできたことを手渡すのだ。強さ、熟達……。それに弱さや愚かさ、失敗も。何より失敗した経験、それこそが偉大なる教師なのだ」と。

失敗は恥ずべきことではない。それは隠すものではなく、共有し、次世代へ手渡すべき貴重な財産である。

私は日本の七転び八起きの精神、だるまの教えを大切にしている。何度転んでも立ち上がることのできるレジリエンス（resilience:回復力、復元力）は、外部からの圧力ではなく、自分や他者のためにベストを尽くそうという内発的な動機から生まれる。

重要なのは、本当の失敗とは転ぶことではない、しゃがみ続けることだ。失敗という事実を謙虚に受け入れ、傷ついた自分をケアする。そのプロセスを経てこそ、人はしゃがみ続けることをやめ、再び立ち上がることができるのである。

7 マスターリーとミステリーの調和

—— 一期一会でミステリーを受容 (Acceptance)



人生への向き合い方には、2つが存在する。一つはマスターリー（熟達・支配）である。これは知識を探究し、技術を磨き、自らの力で人生をコントロールしようとする意志による。課題を解決し、自分自身の力で人生に対する責任を引き受ける。もう一つはミステリー（神秘）、つまり自らの知性では決してコントロールできない運命や、不条理な喪失を受け入れようというもの。未知なるものに対して畏敬

の念を抱くことと言い換えてもよい。

現代の教育はマスターリーに過剰に偏重している。すべてを論理的に説明し、予測し、管理することを良しとする。しかし人生の本質は、計算できない不確実な領域にこそ宿る。茶道における一期一会の精神は、このミステリーの受容を象徴している。二度と繰り返されないこの瞬間を、その不可解さも含めて全霊で受け入れる。

マスターリーによって自律的な個を確立しつつ、自らの知性を超えたミステリーに対して謙虚に頭を下げる。このようにバランスをとることこそが、豊かな人生を形作る。支配しようとする手を緩め、神秘に身を委ねる。その調和の中に、真の平安があるのだ。

仕方がない——被害者意識からの解放と、今が最高という意識を

コントロールできないミステリーに向き合うとき、日本特有の「仕方がない」という精神は、レジリエンスの一形態になる。人生は避けられない苦しみや喪失に溢れており、常に公平や善良が支配しているわけではない。どうにもならない理不尽な現実を前にしたとき、それに抗い続けると人は被害者になってしまう。しかし、「仕方がない」と謙虚に受け入れることで、人は被害者意識の呪縛から解放されるのである。

変えようのない過去や運命を受け入れて初めて、変えることができるものを変えようとする勇気が生まれ、再び歩き続ける力が湧くのだ。そして、歩き続けるプロセスにおいて不可欠なのが、今が最高という意識である。私たちはつい、「もしこうだったら」「いつか理想の未来が来れば」と、手にしていないものを求めてしまう。しかし、いつかは良くなると考えて待つのは避けるべきだ。いつかが来ない可能性もあるからだ。理想的な未来の幻想に逃げ込むのではなく、今、与えられているすべてに感謝し、この瞬間を生き切ること。それこそが、ハートフルネスの神髄である。

8 究極の問いと、人生への責任

死は、究極のミステリーだ。私はときどき授業の冒頭でこう語りかける。「私は死につつある。そして生きてもいる」と。学生たちは、私たちが自然の一部であり、「いのち」という贈り物を受け取っている存在であるという圧倒的な現実を目を覚ます。生きていることへの感謝の感覚は、よく生きるためには欠かせない。これは、日常の中にある小さな恵みにも気づかせてくれるし、本当に大切なものを見せてくれる。

死について思いを巡らせることは、生を深く自覚することであり、自分自身に問いかけることである。「私はどう生きたいのか?」、この問いに私たちは、日々どのように応えていくのか。それこそが、私たちに与えられた課題なのだ。

人生の責任を引き受けるのは、他の誰でもない、自分自身である。誰かの期待に応えるために、水面下で必死に足を動かし続ける必要はない。完璧でない自分を恥じる必要もない。

もちろん答のない問いを抱えながら、不確実な世界を歩むのは容易ではかもしれない。自分の無力さに打ちひしがれる日もあるだろう。しかし、それでも構わない。傷つき、迷いながらも、ありのままの自分を受け入れ、他者と深くつながり合うこと。自らの内なる光と影を統合し、この一期一会の人生を、心を全開にして生き抜く。この静かなる覚悟こそが、これからの時代を自律的に生きるための、確かな希望を与えてくれるのである。



エピソード 未来を生きる皆さんへ

ハートフルネスとは、単に自分の内面を静めるための精神の統一法ではない。それは、不完全な自分を受け入れ、他者への慈愛を持ち、他者とつながりながら人生の責任を引き受けていく生き方を促すものである。正解のない世界を歩むことは、時に強い不安を伴うだろう。しかし、人は最後の一呼吸に至るまで、自分を変えていく力を持ち続けることができる。

完璧を目指して自分を偽る必要はない。むしろ、自らの弱さを謙虚に認め、ありのままの自分を慈しんでほしい。失敗は敗北ではない。ベストを尽くしたのなら、そこから新たな人間としての深みが生まれるのである。理想的な未来が訪れるのを待つのではなく、今、この瞬間に感謝し、精一杯生きること。

私は常に、皆さんの持つ無限の可能性を信じている。自らの内なる声に従い、誠実に、そして謙虚に歩み続けてほしい。その一步一步が、あなただけの、誰にも代えがたい物語になっていくのだから。

重松先生へのご相談は、弊誌アドレスまで
kya01311@nifty.com

雑賀恵子の 書評

雑賀 恵子

文筆家。京都薬科大学を経て、京都大学文学部卒業、京都大学大学院農学研究科博士課程修了。大阪教育大学附属高等学校天王寺学舎出身。著書に『空腹について』（青土社）、『エコ・ロゴス 存在と食について』（人文書院）、『快楽の効用』（ちくま新書）がある。本誌では、2008年11月発行の79号から、ほぼ毎月、書評を寄稿。

アナキズムといえば、無政府主義。国家や政府などのあらゆる権力を否定して、個人の完全な自由と平等を目指す革命思想で、19世紀の社会主義運動の一大潮流であった。思想家としてはプルードン、バクーニン、クロボトキン。日本では幸徳秋水や大杉栄。高校の教科書で取り上げられるのは、こんなところだろうか。19世紀末から20世紀初頭にかけての要人暗殺やらの事件がアナキストによるものとして国家弾圧が加えられたりしたので、テロなどの過激な行動のイメージを持つ人もいるかもしれない。法律やルールが無視されて暴力や強盗が横行しているような大混乱をアナーキーな状態などということもある。一方、既存の常識をぶち破り、国家のルールや商業主義に対抗するパンクロックやストリートアートなどの表現者は、アナーキー（=反体制）と自ら声をあげたりする。

アナキズムは語源的には、古代ギリシア語の支配者や権力、第一原理を意味す



シン・アナキズム 世直し思想家列伝

重田園江
NHK出版、2025年

るアルケーに否定接頭辞アンがついたもの、つまり「非権力」「支配者がいない状態」だ。

アナキズムとはなんだ？
ディヴィッド・グレーバーを読んで、自分はアナキストだと自己覚醒したという著者が、五人の思想家の紹介を軸に据えて、現代社会の息苦しさから逃れる道を示すものとしてアナキズムという思想の真髄を、ヴィヴィッドかつポップに描き出したのが本書である。その一人グレー

バーとは、自己責任論を押し付け生産性重視・効率重視で突き進む新自由主義が、人びとの生活を支える本質的な労働（エッセンシャル・ワーク）を徹底的に削り、非本質的な労働（プルシット・ジョブ＝糞仕事）を増殖させることを突いた本で話題になった経済人類学者だ。高速道路の急速な建設や大都市の再開発という名目で、人びとが生き生きと暮らせる場所が奪われ潰されていく有様に反対運動を起こし、のちの都市計画研究に大きな影響を与えた著述家ジェイン・ジェイコブズ。人びとが土地に根ざして営んできた伝統的な農業を工業化し、環境破壊を行いながら土地も生活も収奪していくグローバル資本主義と闘う科学者で

あり、思想家であるヴァンダナ・シヴァ。現代の社会に切り込み、グローバリゼーションや民主主義を問いかける社会思想史の森政稔。歴史学や人類学の知見から家族や地域、宗教や社会に埋め込まれた経済というものを見つけ、多義的で豊かな営みである経済が産業革命によって市場経済のみに切り縮められ、市場原理が人間を支配する社会に変容していくさまを解き明かし、経済学、政治学、人類学などさまざまな分野に影響を及ぼしたカール・ポランニー。

かれらの思想や生き方に触れると、なんとなく元気が出てくる。いまの社会をがんじがらめにしている権力や第一原理が浮き彫りにされ、当たり前のように思っていたことがひっくり返されたりもする。わたしが空気を求めることを、共に生きるわたしたちの空気を求めるように動きを変えていきたいと願う。

そうか、アナキズムとは、こういうことだったのか。

「探究」の現場から その12

「AIエージェント」の爆発的な普及は教育現場をどのように変えるのか

わずか一年の間に、AIはここまで進化した。

そろそろ夏休みを迎える時期になりました。ここではまず、昨年5月の連載執筆時から今日までの一年間における、AI(人工知能)の進展と、それが教育現場に与える影響について振り返ってみました。

最も大きな変化は、「AIエージェント」の爆発的な普及です。

AIエージェントとは、与えられた目的に向かって自律的にファイルを読み書きしたり、ウェブを操作したりしながら、複数の手順を組み合わせてタスクを遂行するAIです。先駆けとなったのが、Anthropic社が2025年2月にプレビュー版として公開した「Claude Code」。OpenAI社の「Codex」がこれを追い、コーディングの現場は一変しました。今では、自然言語で指示するだけで、AIが数時間にわたり自律的に開発を進めることも珍しくありません。しかもこの波はコーディングにとどまらず、あらゆる作業へ波及しています。

これらのAIエージェントは、PCを使ったあらゆる作業を自律的に行うことができます。受信箱を確認してメールに返信し、SNSへ投稿し、ECサイトで商品を注文する——こうした日常的な作業も、依頼して席を離れている間に済ませてくれるのです。ファイルを開き、文字を打ち、クリックする——PC上の作業の大半がAIに代替される未来は、目の前の現実になりつつあるのです。

エージェントの基盤となるAIそのものの性能も目覚ましく向上しています。OpenAIの「GPT-5」(2025年8月)以降の各モデルでは、もっともらしい嘘=「ハルシネーション」が大幅に減少しました。ま

た、Claudeが2025年9月にPowerPointファイル(.pptx)の直接生成に対応するなど、スライド資料そのものを作る能力も実用段階に達しています。さらに、2026年4月にAnthropic社が発表した次世代モデル「Claude Mythos」は、強力なサイバー攻撃能力への悪用が懸念され、一般公開されませんでした。

こうした進展は、決して偶然のものではありません。元OpenAI研究者らが2025年4月に公表した未来予測シナリオ「AI 2027」や、Anthropic社CEOのDario Amodei氏らAI開発の最前線に立つ専門家たちは、早ければ2026～2027年にも汎用人工知能(AGI)が到来すると予測していました。このようなAIは、もはや「対話相手」ではなく「働き手」、そしてやがては「人間を超える知能」へと姿を変えつつあると考えられ始めています。

AIで激変する教育現場

「AIエージェント」のこのような爆発的な普及は、学校教育の現場にどのような影響を与えているのでしょうか。筆者の身の回りの限られた範囲においても、その影響を着実に感じ取ることができます。筆者の勤務する秋田県の県立学校では Google Workspaceを一括採用しています。生徒や教員は県や学校のガイドラインの範囲内で、GoogleのAI（Gemini）を使うことができます。生徒は、探究活動だけではなく、部活や学校祭などの様々な場面でAIを積極的に使い、役立てているようです。

以下はある（架空の）高校の「総合的な探究の時間」の風景です。

…生徒は教室の机を「田」の字に向かい合せ、4人のグループを編成して「テー

マ設定」に取り組んでいます。4人は黙々とAIに質問を入力しています。会話はほとんどありません。教室には先生が1～2名程度配置されていますが、「主体的な学習」が良しとされているため、積極的に口を出しません。グループワークの形をとっているものの、教室内に会話はなくとても静かです。

また、別の場面では、生徒は研究論文の執筆に取り組んでいます。先生からは「AIの出力を直接使ってはいけない」と言われていますが、論文執筆は初めての経験で、どうまとめればよいか全く見当が付きません。自分ではどうしてもないのでAIに論文を書かせ、自分で書いたように適当に加工して提出してみました。先生から返ってきたのは「AI使ったね」という指摘。その生徒は再提出を求められました。

ファシリテーターとしての教師

上の教室風景では、生徒はAIを信頼できる道具として積極的に使おうとしており、だからこそAIと向き合って、探究活動のテーマに関するアイデアを探し出そうとしています。しかし、それだけではすぐに行き詰まります。効果的に探究活動を進めるためには、自分たちの考えや、AIとの会話から得られた情報を整理した上で、「次のステップでなにを行うべきか」を意思決定する必要があります。そのためには、いったん画面から目を離し、現実世界へ「戻り」、仲間や指導教員とディスカッション（議論）する必要があります。

しかし生徒は、基本的にディスカッションに不慣れです。もちろん、学級活動、部活動、授業等での経験はあるものの、探究活動におけるディスカッション

のハードルは、はるかに高い。扱っている題材が学問や社会の問題に直結していてとても複雑だからです。そこで生徒は「何について話しているのか」もわからないまま進めなければなりません。これは他の活動では体験したことのない難しさです。

今、探究活動を指導する教師には、このような活動を手助けする「ファシリテーター」としての役割が求められています。ファシリテーターとは、「何をすべきかを指示するのではなく、課題について一緒に考えたり助言したりすることで、相手が物事をより取り組みやすくなるよう支える人」とされ、教育分野ではアクティブラーニングの文脈などで用いられてきました。

これまで教師は、知識の伝達者として「舞台上の賢人」などと呼ばれてきました。しかし、超高性能なAIが身近にある今、その役割はAIに任せ、自らはファシリテーターとして振る舞えばよいことになったのです。ミニ発表会を行う、得られた情報をふせんやホワイトボードで整理するなどの学習活動（アクティビティ）を、臨機応変に組織するのです。

もちろんファシリテーターとしての探究指導法の歴史は浅く、筆者も手探りの状態です。また、教育現場で安全・安心にAIを使うための指導法についても、運営しながら蓄積していくしか方法はありません。しかし、少なくとも、AIが導入されてからの探究活動の質は着実に向上していると実感しています。その証拠に、画面から目を離し、頭と体を動かす生徒の顔は笑顔に溢れ、活き活きとしています。

このようなAIとの関係や授業の展開が、より良い方向に向かうことを願いつつ、実践を重ねていこうと思います。

16歳からの大学論

第50回

勉強思考、学問思考

京都大学 学際融合教育研究推進センター 准教授 宮野 公樹 先生

Profile

1973年石川県生まれ。学問論、大学論。総長学事補佐、文部科学省学術調査官の業務経験も。国際高等研究所主任研究員、日経STEAMアドバイザー。近著「問いの立て方」(ちくま新書)。2025年5月、NHKによる7ヶ月間の密着取材がドキュメンタリー番組に(ETV特集「ねちねちと、問うーある学者の果なき対話ー」)

高校生の皆さんは日々取り組んでいる「勉強」と、大学という場所で行われる「研究」や「学問」の違いについて、あまり深く考えたことはないかもしれません。今回は、皆さんが今まさに直面している勉強と、将来待ち受ける学問や研究の本質的な違いについて考えてみたいと思います。

■ 勉強とは「問題を解く」こと、学問とは「問題を生む」こと

現在、高校生の皆さんがしている「勉強」と、大学でする「学問」とは、まったく性格が異なります。違いを一言で言うなら、勉強は「問題を解く」という作業であり、学問は「問題を生む」という営みです。

この違いを探る上で重要なのは、「問題」とは何かということです。この問題に関して、勉強と学問の決定的な違いとは、「答えがあるかないか」です。つまり勉強の問題には答え(正解)があるのに対して、学問にお

ける問題(問い)には答えがありません。

本来、我々の生き死にに関わることをはじめ、世の中の出来事のすべてについて、そこでの問いに答えはありません。しかし、その全体の中から個別に完結するように作られたものが、勉強における「問題」なのです。これは例えるなら、臼から引き上げた大きな餅を、食べられるように小さく引きちぎっているのと同じです。この食べられるサイズになった問題を解く作業によって人間が賢くなると信じられている現代の社会では、勉強における行動原理は「達成の追求」であり、テストで点を取ることや資格に合格することが表現手法となります。そこでの営みは「覚える」ことであり、主体の立場はある意味で受動的なものです。

■ 学問への昇華と大学の意義

学問において大事ななのは、研究者自身が「なぜ自分はその原理を知りたいと思うのか」を認識していることでしょう。「好きだか

ら」という個人の興味に留まらず、日々の活動を通じて人間の存在や自然そのものの謎に触れることが学問です。研究が対象との戦いであるなら、学問はそれを通じた自分自身(あるいは自分も含めた全人類)との戦いです。そこまで考えるからこそ、すべての人に通じる「普遍」となり、国費を投入することにも値するのです。

世の中には、興味関心に従った研究や、課題解決を狙う研究が存在します。しかし、興味関心の追求はどこにおいてもできますし、課題解決は一般企業や国立研究開発法人などの役割とされています。ですから、もし大学がそれらと異なるものでなければ、社会に存在する意味は薄いと言えます。

大学でやるべき「学問」とは、一つはそこに自己を疑う目があるかどうかで判断されます。「自分がやっていることは結局何なのか」「そもそも自分はなぜ関心を持ったのか」と、自分自身を外から見つめるような視線。それを持つことが本当の意味で「考え

る」ことであり、そのように考え探究することこそが学問なのです。

生きること=食うことが主目的になりがちな日常において、それを問い直すにはいったん日常から離れなければなりません。それが大学という時空だと私は思っています。大学でやるからには、どのようなテーマであっても「学問」でないとけない。そうでなければ、他の組織体との区別がつけられないからです。

高校生の皆さん、そして先生方。目の前にある、「答えがあり、テストで点を取るための勉強」もまた、ここで述べた学問から切り出されたものの一つであるとの認識に立ち、それを人生においてより意味あるものにしてほしいと思います。そのためには単なる記憶力の競争から一歩踏み出し、この「勉強」の意味や意義を追求する。このことは「学問」への連続性を保つための非常に有意義な姿勢であると私は考えています。(続く)

AI for Social Science 京都産業大学 法学部

AI時代の社会に、どんなルールを創るのか

新しい問いに向き合う“新領域法学”の挑戦

AIが文章を書き、画像を生成し、法律文書の整理や判例の検索まで支援する時代になった。SNSでは一人ひとりに最適化された情報が流れ、将来的にはAIが自律的に買い物や交渉を行うことも当たり前になるかもしれない。こうした社会で、法学はどのような役割を果たすのだろうか。京都産業大学法学部の來住南桃先生は、「AI時代だからこそ、法学を学ぶ意義はむしろ増している」と語る。法律家や公務員を目指す人だけでなく、企業で働く人、技術を使う人、社会の一員として生きるすべての人にとって、法学はこれからますます重要な「考えるための武器」になっていく。

AIが切り崩す、近代法の前提

來住南先生は、AIが法学にもたらしている変化を、単なる「新しい技術への対応」とは捉えていない。より根本的な変化が起きているという。

「AIが法学にもたらしているのは、近代法の諸前提を問い直しているということだと思っています」と先生。

これまでの法は、基本的に「人間」を主人公としてきた。人間は自分で合理的に考え、自由に行動し、その結果について責任を負う。人間以外のものは道具や物として扱われる。これが近代法の基本的なモデルだった。

しかしAIは、その前提を揺さぶっている。AIは人間ではない。しかし、人間の命令を一つひとつ待たなくても一いわば「自律的」に一篇文章を生成し、画像をつくり、判断に近い動きをする。さらに、AIは人間社会に存在する大量のデータを学習するため、社会の中にある偏見や差別、バイアスまでも再生産してしまうことがある。

「これまでの法律やルールの枠組みでは、うまく処理しきれない問題がたくさん出てきています。だからこそ、法がこれまで何を実現しようとしてきたのか、どんな機能を果たそうとしてきたのかに立ち返る必要があると思います」と先生は強調する。

ディープフェイクが問いかける「被害」の形

先生が現在研究対象の一つとしているのが、性的なディープフェイクの問題だ。AIによって、実際には存在しない映像や画像がつくられ、それが人を傷つける。ここでは、従来の法律が前提としてきた「現実起きた行為」や「実在する被害」という考え方だけでは、十分に対応しきれない場面が生まれる。

「これまでの法律は、実際に存在する人間が、何らかの実際に存在する被害を受けるというモデルに立ってきました。しかしディープフェイクの場合は、存在していない行為や存在していない場面がつくられてしまいます。このような場合に、誰にどのような法的な被害を認め、誰に責任を負わせるべきかは、未だに答えのない問いです」と先生は、従来の法が直面する難しさを示す。

では、そうした画像が拡散されたとき、誰かに責任を問うべきなのか、そうだとすれば、誰

がどのように責任を負うべきなのか。作成した人か、拡散した人か、プラットフォームを運営する企業か、それともAIを提供した企業か。従来の枠組みをそのまま当てはめるだけでは、答えは簡単に出ない。

ここに、新領域法学の出番がある。

新領域法学とは何か

新領域法学とは、単に新しいテーマを扱う法学ではない。従来の法学において中心となってきた法文や判例を精密に読み解くだけでなく、哲学、倫理学、心理学、経済学、工学など、隣接する諸分野の知見を取り入れながら、学際的に社会の課題に向き合う法学である。

「法がこれまで取り扱ってこなかった領域を扱うという意味でも新領域ですし、これまでの法学とは違う方法論を用いるという意味でも新領域だと思っています」と、先生はその面白さを語る。

AIやSNSなどのデジタルテクノロジーの進展や、生命科学・医療研究の発展、さらにはジェンダーやセクシュアリティ、多様性に関する価値観の変化など、現代社会の問題は、一つ分野だけでは解決することができない。技術の仕組みへの理解や倫理・哲学等人文科学の視点を取り入れながら、社会で機能するルールを考えていく。そこに、新領域法学の面白さがある。

「規制か自由か」ではなく、「どう規制するか」

AIをめぐる議論では、「規制すべきか、自由に任せるべきか」という対立でしばしば語られがちである。だが、AIは危険だから止めればよい、あるいは便利だから自由に任せればよい、というほど単純な技術ではない。

「これまでは、新しい技術に対して、規制をするのか、野放しにして自由にするのか、という問いの立て方がされがちでした。しかし、今後は「どのように規制するのか」という問いを中心として考えていく必要があると思います」

AIには、差別的な判断の再生産、プライバシー侵害、誤情報の作成・拡散といったリスクがある。しかし同時に、医療・科学研究・教育等への活用や、労働力不足の解決など、社会の課題を解くための大きな可能性も有している。悪いリスクを避けようとして技術そのものを押さえ込めば、そうした可能性まで失われてしまう。

そこで注目されるのが、アジャイル・ガバナンスという考え方である。国がすべてを事前に

上から決めるのではなく、企業、行政、専門家、市民などが関わりながら、リスクを分析し、改善を繰り返していく。変化の速い技術に向き合うには、社会の側もルールを更新し続ける必要がある。

法学は、法曹だけのものではない

この話は、法学部で学ぶ意味にも直結する。

法学部というと、弁護士、裁判官、検察官、公務員を目指す人のための学部というイメージがあるかもしれない。しかし、AIやデジタル技術が社会全体に広がるなかで、法的な視点は、企業で働く人にも、技術を開発する人にも、サービスを利用する人にも必要になっている。

「法曹や行政に進む人だけではなく、民間企業に進む人も、どの場所にいる人も、法学の知識を身につけたうえで、社会のガバナンスに関わっていくことが求められていく時代になっていると思います」と先生は語る。

法学とは、条文を暗記するだけの学問ではない。人間社会にとって何が大切な価値なのか。多様な考えを持つ人々が、どうすれば共に生きられるのか。誰が不利益を受けやすく、その人たちをどう守るのか。そうした問いを考え続ける学問である。

AIが判例を調べ、文章を整え、論理の整合性を確認するようになれば、法律家の仕事の一部は変わっていくだろう。しかし、それは法学が不要になるということではない。むしろ、法学が本来向き合ってきた「私たちはどのような社会を生きていきたいのか」という根本的な問いに、より集中できる時代になるのかもしれない。

AIを恐れず、変化に応じて立て直す

先生は、授業の中でもAIを学びの道具として活用することを勧めている。複数のAIモデルを使い比べ、出力を確認し、問い方を変えながら、自分の目的に合う使い方を探る。そうした実践を通して学生たちはAIの力と限界を学んでいく。

「船に乗らなければ、操縦の術はわからないように、実際にAIを使ってみなければ、どのようなAIの使い方をすればよいのかはわからないと思います。自分の頭で考え、実行できる力と、AIを使ってより良いものをつくる力。その両方を高めていってほしいと思っています」と先生は語る。

AIを避けるのではなく、使いながらも自分の



京都産業大学
法学部 助教
來住南 桃先生

Profile

京都大学法学部卒業、京都大学大学院法学研究科法曹養成専攻修了。京都大学大学院法学研究科法政理論専攻博士課程修了。博士（法学）。愛知県立旭丘高等学校出身。

頭で考え続けることをいかに確保するのが、これからの時代で最も切実な問いである。

そしてもう一つ、先生が高校生に伝えたいのが「レジリエンス」だ。AIやテクノロジーの進展によって、社会の変化はますます速くなっている。今なりたいたいと思っている職業の形が、数年後には大きく変わっているかもしれない。だからこそ、一度決めたことに固執しすぎず、変化に応じて柔軟に立て直す力が大切になる。

先生自身も、もともとは法曹を志してロースクールへと進んだ。しかし、師との出会いをきっかけに研究者の道へ進むことになる。制度を批判的に見る視点や、人と違うものの見方を生かせる場所が研究だった。

AI時代だからこそ、法学の役割は小さくなるのではない。むしろ、社会のルールを誰かに任せきりにせず、自分たちで考え、つくり、更新していくために、法学を学ぶ意味は広がっている。

2027年、京都産業大学法学部がリニューアル

法律を「覚える」から、社会で「使いこなす」へ

AI、SNS、地域課題、企業活動、公共政策。現代社会の問題は、教室の中だけで完結しない。だからこそ京都産業大学法学部は、2027年4月から新しいカリキュラムを導入する。

掲げるのは、「答え」を覚える法学部ではなく、法律を「武器」として使いこなす法学部。1年次には、法学、政策学、憲法、民法、刑法などを通して、法学を学ぶための基礎を丁寧に固める。そのうえで2年次以降は、進路や関心に応じて専門的な学びを深めていく。

中でも特徴的なのが、新設される『企業・ビジネスコース』。法学部の進路は、法律家や公務員だけではない。企業のコンプライアンス、知的財産、取引、労務、リスク管理など、ビジネスの現場にも法的思考力は欠かせない。民間企業で活躍したい学生にとっても、法学を実践的に学べる環境が広がる。

さらに、共創型リーダーシッププログラムや地域フィールドワーク、模擬裁判、企業・公共機関訪問など、行動を通して学ぶ機会も充実する。多様な立場の人と対話し、課題を見つけ、解決策を考え、社会へ発信する力を養う。

変化の速い時代に必要なのは、知識を持っている人ではなく、その知識を使って社会に働きかけられる人だ。京都産業大学法学部は、公務員、法律家、企業人など、多様な未来を目指す学生に向けて、社会で使える法学を教育していく。

OPEN CAMPUS 2026

7/19 ⑤ | 8/1・2 ⑤ | 9/21 ⑤⑥ | 12/20 ⑤

10:00～(9:15～随時受付) ※12月は10:30～ 事前申込制(当日申込可)

高校生の方はもちろん、保護者の方もご参加いただけます。
イベント詳細および事前申込は京都産業大学の入試情報サイトをご確認ください。

経済学部

●経済学科

経営学部

●マネジメント学科

法学部

●法律学科
●法政策学科

現代社会学部

●現代社会学科
●健康スポーツ社会学科
●心理学科 ※NEW

※2027年4月設置構想中

国際関係学部

●国際関係学科

外国語学部

●英語学科
●ヨーロッパ言語学科
●アジア言語学科

文化学部

●文化構想学科
●京都文化学科
●文化観光学科

理学部

●数理科学科
●物理科学科
●宇宙物理・気象学科

アントレプレナーシップ学環

情報理工学部

●情報理工学科

生命科学部

●先端生命科学科
●環境生命科学科



京都産業大学

入学センター
〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
TEL 075-705-1437
E-mail: info-adm@star.kyoto-su.ac.jp

入試情報
サイトは
コチラから



デキル！学部(学環)

東京都市大学「創発デザイン工学環」

工学

×

デザイン

「作る力」と「考える力」を
兼ね備えたクロスオーバー人材を育成

「創発デザイン工学環」
が目指す学び

学部等連係課程という新たな学びのしくみは、複数の連係協力学部の教育課程を横断できることが特徴だ。東京都市大学の「創発デザイン工学環」では、理工学部、建築都市デザイン学部、情報工学部の3学部11学科を連係協力学部・学科とし、機械・電気・建築・情報などの工学分野を広く横断しながら授業科目を選択する。

注目したいのは、「複数分野を学ぶ」こと自体が目的ではない点だ。創発デザイン工学環が重視するのは、複数の工学技術を、必要に応じて選び、組み合わせ、試作(プロトタイプ)と検証を通じて発想を具体へと進めていく学び方である。一つの技術だけでは届かないことも、技術同士をつなぐことで、できることの幅や表現の可能性が広がる。そうした組み合わせの中から、これまでになかった解の形や新しい価値が立ち上がっていくことを「創発」と捉え、その起点となる学びの循環を、学部横断のカリキュラムと試作(プロトタイプ)中心の学修によって育てようとしている。「学環」という名称には、専門科目の“つながり”や、試作を通じて「つくる」と「考える」を“循環”させる意味を込めた。

この構想を支える基盤の一つが、東京都市大学が2021年から展開してきた「ひらめき・こと・もの・くらし・ひと」づくりプログラムの実績だ。このプログラムは探究の学びを現実の解へ近づけるものとして、文部科学省の「知識集約型社会を支える人材育成事業」にも採択された。創発デザイン工学環は、こうした取り組みで培ってきたノウハウを土台に、学部横断の枠組みの中で新たな学びを体系化・発展させようとしている。

分野横断の学びを
統合的な学びへ

分野横断の学びは、いま多くの大学で取り入れられている。複数の領域に触れられること自体は大きな意義がある一方で、学びが「知識の並列」にとどまると、実践の場で役立つ力になりにくい。

創発デザイン工学環が目指すのは、課題に応じて知識や技術を“使える形”に束ね直していく「統合的な学び」である。

ではそもそも、学部が連係して分野横断の学びを進めることが、今、なぜ求められているのか。その背景には、現在の解決すべき社会課題が複雑さを増してきたということがある。例えば環境分野であれば、気候変動のように複雑な事象が絡まり合う課題は、一つの専門分野だけでは捉えきれず、複数の知識や技術を組み合わせて初めて解決に近づける。こうした要請は、生命倫理や今日のAI倫理といった新たな論点に限らない。伝統的な文系の学問を含め、いまや多くの領域で共通する前提となりつつあるからこそ、「横断して学ぶ」だけでなく、「統合して使う」学びが重要になっている。

この点について、学環長就任予定者で機械工学が専門の白木尚人教授は、日本の工学教育を見てきた実感として、「以前から日本の工学教育については、機械、電気、情報、建築など、各分野で専門化は進むものの、それぞれが十分につながっていないのではないかと感じてきた」と語る。さらに白木教授は、分野横



創発デザイン工学環が入る予定の6号館

断の狙いは専門性を曖昧にすることではなく、土台を確かにした上で掛け合わせる点にあるとして、「だからこそ、工学においてもしっかりと基礎となる知識・技術を身につけた上で、異なる分野の知識を掛け合わせ、新しい価値を生み出していく力が求められている」と続ける。分野横断を出発点にしながら、その先で知識と技術を“つながる形”にしていくこと―創発デザイン工学環が目指す統合的な学びは、こうした問題意識とも重なっている。

特徴的な学部等連係課程の例

表①

大学名	連係課程の名称
和歌山大学	社会インフォマティクス学環
熊本大学	共創学環
山口大学	ひと・まち未来共創学環
京都産業大学	アントレプレナーシップ学環
佐賀大学	コスメティックサイエンス学環
青山学院大学	統計データサイエンス学環
甲南大学	グローバル教養学環
山形大学	社会共創デジタル学環

※上記は一例であり、他の事例は各大学のウェブサイト等を参照してください。

CURRICULUM		創発デザイン工学環のカリキュラム		表②							
		1年		2年		3年		4年			
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門科目	学環 基盤科目	学環基盤科目・SD PBL									
	創発デザイン系	創発デザイン系(基礎)				創発デザイン系(応用)					
	連係基礎系	(基礎) 理工学部連係 建築都市デザイン学部連係 情報工学部連係				連係する 3学部の科目 から関心分野 に応じた柔軟 な履修が可能					
	連係応用系	(応用) 理工学部連係 建築都市デザイン学部連係 情報工学部連係									
関連科目	卒業研究	4年次の「卒業研究」は、学環専属の研究室で成果をまとめていく場合と、理工学部・建築都市デザイン学部・情報工学部の各研究室に所属する場合があります。						事例研究	卒業研究 卒業制作		
	教養科目 外国語科目 体育科目	人文系系・社会科学系・人間科学系などの教養科目や、「都市大スタンダード2.0」に基づく外国語科目などを履修します。別途「東京都市大学オーストラリアプログラム(TAP)」に参加する場合は2年次8～11月の期間を予定しています。						教養 外国語 TAP 体育			



デザインスタジオ(仮称)で培う「設計する力」

創発デザイン工学環が掲げる「デザイン」は、意匠としてのデザインに限らない。課題を発見し、問いを立て、仮説を置き、必要な技術を選び、試作し、検証結果を踏まえて改善する—そうした一連のプロセスを回しながら解を更新していく、いわゆる「デザイン思考」の実践を重視している。そのプロセスを設計し、前に進めていく力こそがこの学環で培う“設計する力”であり、机上の理解にとどめず実践として鍛える場所となるのがデザインスタジオ(仮称：下図)だ。

デザインスタジオには、工作機器・計測器・3Dプリンタをはじめ、IT設備や映像設備などが整備されている。ここは単なる制作スペースではなく、アイデアを形にして確かめ、うまくいかなければ作り直すという、試作(プロトタイプ)と検証のサイクルを回すための場所である。試作は“完成品づくり”ではなく、仮説を検証するための手段だ。何を確かめるのか、どこまで作ればよしと判断できるのか、どの条件を優先する

のか—こうした判断を繰り返していくことがこの学環の特徴的な学びでもある。

なお、このスタジオでの学びを支える演習科目として、例えば『工学表現演習』では、プレゼンテーションの基礎や静止画・動画編集ソフトの操作を身につけ、課題の成果を「分かりやすく」「美しく」伝える力を養う。『デジタルモデリング演習』では、3Dモデリングやプログラミング、電子工作の基礎を学びながら、プロダクトやサービスの試作を通して複合的なデザイン力を身につける。そして『プロトタイピング応用演習』では、前段の学びをベースに、社会実装を見据えた具体的な構想と試作検証を重ねることで、創発デザインのための実践力を磨いていく[左ページ表②参照]。

デザインスタジオという“場”が試作と検証の密度を高め、関連する演習科目群がプロセスを段階的にガイドする。両者が連動することで学生は、知識を並列的に身につけて終わりとするのではなく、統合的な学びの手応えを自分のものにしていく。

社会実装へ—「デザイン思考」の学びを社会に接続する

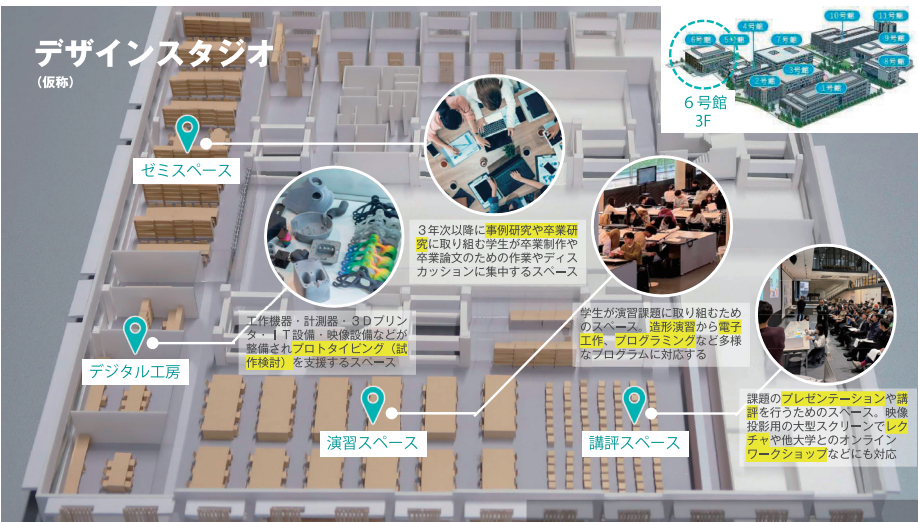
「使いやすさだけでなく安全性、合理性まで含めて考え抜かれていないと、本当に美しい製品とは言えないし、そういうものを作る感覚を身につけようと思えば、何度も繰り返し試作してみることが大事だ」。ものづくりの本質を「機能美」と捉える白木教授は、手を動かしながら考えることの重要性をこう語る。見た目の意匠を整えるだけではなく、機能が成立し、安全で安心して使うことができてはじめて“美しい”と呼べる—その考え方は、創発デザイン工学環が重視する試作と検証の学びと直結している。



そして、その試作と検証を学内で完結させず、社会の現場へ接続していく段階にあたるのが「社会実装」だ。社会実装とは、技術を社会に押し出すことではない。ユーザーや現場の要請、コスト、法規、安全性、保守・運用といった外部条件を踏まえ、解決策を成立させるプロセスである。優れたアイデアや高い性能があっても、使われない、続かないという壁にぶつかるのは珍しくない。だからこそ、プロトタイプは完成品の前段階ではなく、関係者との対話を生み、条件を可視化し、改善点を見つけるための“検証装置”となる。

社会実装の場では、工学的に「できること」と、社会の側から「求められること」の間にギャップが生まれる。そのギャップを埋めるには、性能や機能の最適化だけでなく、誰がどう使うのか、どこで運用されるのか、どんな制約のもとで継続できるのかといった条件を読み取り、解をつくり直していく視点が欠かせない。つまり社会実装とは、デザイン思考の循環を、より複雑な現実の中で回し続けることにほかならない。

創発デザイン工学環が育てようとしているのは、作って終わらず、考えて終わらず、両者を往復しながら価値へつなげられる人材である。分野をまたいで技術を束ね、試作(プロトタイプ)で確かめ、条件に合わせて更新し、社会に届く形にする。このような一連のプロセスを設計できる力こそが、本学環のいう「クロスオーバー人材」像であり、これからの工学に求められる実践力でもある。



学環長就任予定者
白木 尚人 先生
東京都市大学 理工学部 教授
博士(工学)

「デザイン」に携わる東京都市大学の学部・学科・学環(学びの比較)

建築都市デザイン学部は、快適で豊かな暮らしを生み出せる建築家や都市をデザインできる技術者、建築家をめざします。
創発デザイン工学環は、東京都市大学理工学部と建築都市デザイン学部と情報工学部の分野横断したつながりを基盤とし、作る力と考える力を兼ね備えたクロスオーバー人材を育成します。
デザイン・データ科学部は、膨大なデータから価値を抽出する分析力と、それを社会課題の解決につなげる構想力を学びます。



学科	建築都市デザイン学部		創発デザイン工学環	デザイン・データ科学部
	建築学科	都市工学科	※募集人員80名 ※2027年4月新設	デザイン・データ科学科
主な分野	建築・デザイン 設計・構造・材料	都市・土木・ 防災・インフラ	工学×デザイン ×社会実装	データサイエンス・ 国際教養・デザイン・ マネジメント
入試受験科目	理系	理系	理系	理系・文系
学生が 選んだ学科 のポイント	工学的要素と芸術的要素の両面から建築を学び、一級建築士を志せる	道路やトンネル、橋梁など土木構造物の専門知識を学べる	(目的)既存の工学の枠を超え、技術とデザインを融合させて新しい価値(モノ・コト)を創出	データサイエンスに基づく、UXデザインや、ソーシャルシステムデザインが学べる

東京都市大学

TOKYO CITY UNIVERSITY

[お問い合わせ]入試課 TEL.03-6809-7590(部署代表)

世田谷キャンパス

横浜キャンパス

都市大

理工学部／建築都市デザイン学部／情報工学部
創発デザイン工学環／都市生活学部／人間科学部
環境学部／メディア情報学部
デザイン・データ科学部

検索

HP <https://www.tcu.ac.jp>

1万人が参加する
OPEN CAMPUS
8/2日、8/3日
(事前申込制)

学習塾紹介版 **東京・神奈川・埼玉**

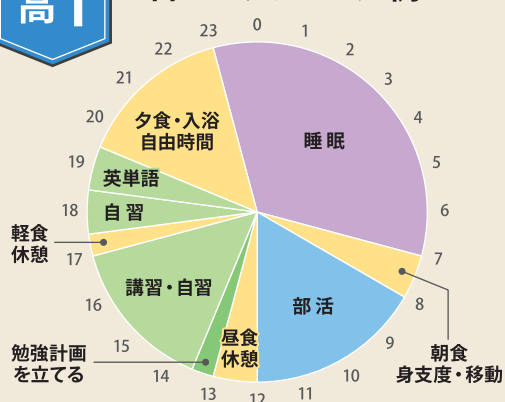
創英ゼミナール/東進衛星予備校

学年別 おすすめの夏休みの過ごし方

夏本番の暑さが続きますが、皆さんは元気に過ごしていらっしゃいますでしょうか。夏休みは勉強する時間がたっぷりある一方で、長すぎて計画や段取りを決めることが難しいという面もあります。そこで、今回は学年別におすすめの夏の過ごし方をまとめました。

高1

1日のスケジュール例



Point!

- ▶ まずは学習習慣をつけましょう。学校がある日と同じ**1日5時間**が目安です。
- ▶ 1日の最初に勉強の計画を立てることで効率が何倍にも上がります。

高1のポイントは、将来の方向性を考えることと、学習習慣を作ることの2点です。

高1は将来の方向性を考えるのに最適なタイミングです。将来の夢や自分のやりたいことは何か、ぜひ考えてみましょう。明確に将来やりたいことが決まっていなくても、オープンキャンパスに行ったり公開講座に参加したりすることで刺激を受け、"自分はこれに"

ToDoリスト

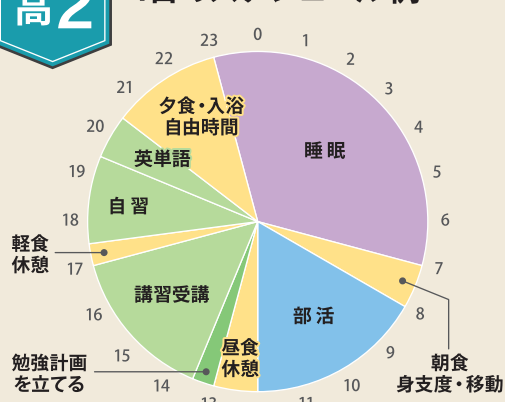
- ☐ オープンキャンパスに行く
- ☐ 将来のことを親、先生と相談する
- ☐ 英検取得に向けて勉強

興味があったのだ"と気づきを得ることもあります。
高1の今だからこそ、高校卒業後の生活について想像
を膨らませてみてください。

勉強面については、具体的な目標を立てにくいこの時期は英検取得に向けた学習がおすすめです。高2のうちに2級に合格できると志望校選択の幅が広がりますので、計画的に受験しましょう。

高2

1日のスケジュール例



Point!

- ▶ この時期から、**大学受験を意識**した勉強に取り組みましょう。
- ▶ 部活や自身の予定以外の時間はしっかり勉強に充てましょう。

高2のこの時期には志望校を決め、受験方式についても考えてみましょう。志望校が決まっていない場合は、オープンキャンパスに参加して最優先で決めましょう。一般選抜は大学によって受験科目が異なり、総合型選抜は面接・小論文対策が必要なほか、特定のボランティア参加が出願の条件になっていることもあります。今のうちからそうした情報を把握し、少しずつ対策を始めることで、余裕を持った受験準備ができます。

高2の夏は受験勉強を意識し、学習を始める人が多い

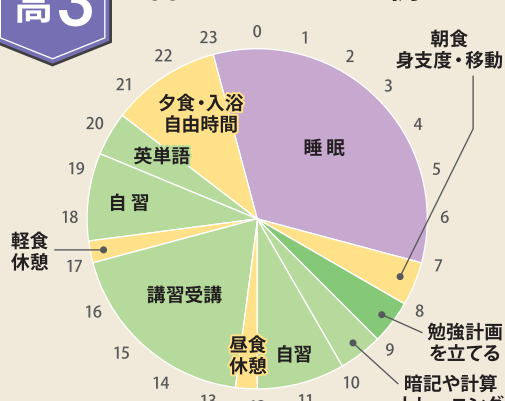
ToDoリスト

- ☐ 志望校・受験方式を決める
- ☐ 受験に使う教科の夏期講習を受講
- ☐ 模試の受験

ですが、何から始めたらいいかわからない人も案外多いのではないのでしょうか。そのような時はぜひ「受験で使用する科目の夏期講習を受ける」ことをおすすめします。各予備校や塾の夏期講習では、受験に向けて高2の夏に勉強すべき内容を扱います。夏期講習を受講し、ある程度知識をつけた状態で夏休み明けを迎えましょう。夏の成果を図るために、模試を受験することもおすすめです。自分の強みや弱みがわかり、本格的な受験勉強開始の準備が整います。

高3

1日のスケジュール例



Point!

- ▶ 英単語暗記などのルーティンや休憩は、いつも同じ時間にすると効率が上がります。
- ▶ **睡眠時間と自由時間を確保**した方が日中の効率が上がり、長期的にも疲れが出にくいです。

高3の夏は大学入試の天王山とよく言いますがまさにその通りで、各教科1周のインプット学習と、過去問5年分の演習は必須です。1周のインプットとは、例えば世界史であれば一問一答の暗記を古代から現代まで一通り終えたという状態です。もちろん1周目なので全部は覚えられないと思います。秋以降2周、3周とこなしていく過程で正答率は上がっていきます。

志望校の過去問5年分の演習は、その大学の出題傾向を知り、自分が解けなければいけない問題の目標

ToDoリスト

- ☐ 各教科1周はインプットを終わらせる
- ☐ 志望校の過去問を5年分解く
- ☐ 弱点を把握し、秋以降の対策へ

レベルを明確にできます。そして、自分の現状の学力レベルを知り、その到達レベルとの差を把握するために、複数年の演習が必須です。この演習をしないと、今の勉強がいつの間にか志望校の入試を突破するために必要な知識やレベルと乖離していた、ということが起こりえます。ゴールを明確にすることで、勉強の効率が上がります。また、自分の弱点を把握し、秋以降の学習において強化するポイントを知ることができます。

夏期講習

2026.7.20(月) - 8.25(火)

講習 & 通常授業を
申込すると

90分×4回

※8/25(火)までに入塾手続きをされた方が対象。
別途、教材費がかかります。最大2科目。アドバンス講座は適用外。

0円!

実力も自信も
つける夏に!



SOUEIグループ
創英ゼミナール



0120-4119-45

[平日・祝日] 10:00 ~ 22:00
[土曜・日曜] 10:00 ~ 19:00



1999年に創業した「創英ゼミナール(SOUEIグループ)」は、直営個別指導専門塾として首都圏最大級の教室数(164校)と生徒数(小学生から高校生まで約1万7千人)を誇り、これまでに15万人以上の卒業生を輩出してきました。また、(株)シェアードウェイ(SOUEIグループ)・東進衛星予備校は、神奈川県内に25校舎、

埼玉県内に4校舎あります。SOUEIグループでは、「夢見る力と大きな感動を」という理念のもと、志望校合格のみを追求するのではなく、生徒自らが掲げた夢や目標に向かって挑戦することを応援し、その過程での生徒の成長を指導目標としています。

チャンスがたくさん！大学入試選抜方式まるわかり表！

昨今の大学入試は、様々な選抜方式があります。行きたい大学や学びたい分野があれば、少しでも合格率を上げるため複数の方式を受験するのがおすすめです。早いうちからどんな選抜方式なのか、いつどんな入試が行われるのか、情報を把握し、計画を立て対策をはじめましょう。

総合型選抜

9月～

選考方法

押さえておくべきポイント

特徴とポイント

調査書の基準が無い場合が多い。選考方法は書類審査・小論文・面接が多いが、大学ごとに異なる。

例
書類審査
事前課題
学力試験
小論文・レポート
プレゼンテーション
グループディスカッション
実技試験
面接
セミナー・模擬講義 など

試験内容について
大学ごとに異なるため、入試要項を必ず確認してください。共通して重要なことは、自己分析と志望大学の研究です。

学習について
日頃からニュースを見て、時事に強くなることが重要です。総合型選抜の対策と並行して、一般選抜に向けた学習を進めておきましょう。

併願の可否
一部大学で可

学校長の推薦
基本的に不要

試験項目
提出書類
(志望理由書・活動報告書)
面接・小論文など

学校推薦型選抜

11月～

選考方法

押さえておくべきポイント

特徴とポイント

選抜方式には、指定校制と公募制の2種類があり、いずれも学校長の推薦がある人だけが出願可能。

指定校制
高校ごとに推薦のある大学や募集人数が異なる。

公募制
大学ごとに出願基準や募集人数が異なる。

つまり、指定校制では高校内の他の生徒がライバルとなり、公募制では全国の高校生がライバルになると言えます。

出願について
学習成績の状況(評定)に基準が設けられており、その基準を満たし、かつ学校長の推薦を受けた人のみが出願できます。

学習について
学校の評定を高くすることが最も大切です。成績を上げるためにも、日々の予習復習を徹底的に行いましょう。

併願の可否
専願が多い
(入学を確約する)

学校長の推薦
必要

試験項目
提出書類
(志望理由書・活動報告書)
面接・小論文など

一般選抜

12月～

選考方法

押さえておくべきポイント

特徴とポイント

国公立大学は6教科8科目以上、私立大学は教科・科目数が大学や学部により大きく異なる。

国公立大学
共通テスト(1次)と大学ごとの2次試験で選考。

私立大学
同じ大学でも複数の試験方式が設けられている。

受験科目について
学部によって受験科目が異なります。志望する学部で必要とされる受験科目を調べ、早めに準備をしておきましょう。

受験校について
自分に合った受験校を選ぶことで、合格の可能性は高まります。第一志望だけにこだわらず、複数の大学を調べておきましょう。

併願の可否
可能

学校長の推薦
不要

試験項目
主に
ペーパーテスト

コラム 総合型選抜・学校推薦型選抜とは？

新しい時代の大学入試には、新しい社会を生き抜くために必要な力が求められています。例えば「自分の考えを表現しグループでまとめる」「物事の中から問題を発見し解決方法を計画・実行する」など、学力検査では測れない非認知スキルと言われる力を試されるのが、総合型選抜・学校推薦型選抜です。特に近年は受験者も増え、2025年度入試では、大学入学者の53.6%が総合型もしくは学校推薦型選抜で合格しています。総合型選抜の中には内申点が関係ないものも多いため、合格のチャンスを増やすための選択肢の一つとして必ず検討しましょう。

今や大学入学者の5割！定員急増のワケは？

総合型選抜

大学のアドミッション・ポリシー(どのような学生に入学してもらいたいか)に合致する生徒を選抜するための入試。出願条件は厳密ではなく、校長の推薦もいらないため、基本的にはすべての受験生にチャンスがある。一部の大学では、共通テストの一定の点数が必要なこともある。

選抜方法の例	選拔型 ▶ 志望理由書や自己推薦書をもとにした面接に加え、小論文やレポートを課す。 対話型 ▶ 面接を通して、人物評価や意欲、志望動機などを重視する。近年は学力の担保も必要。 体験型 ▶ 事前に講義やセミナー、イベント等に参加し、それに伴うレポートや課題を提出する。 試験型 ▶ 「英国」や「英数」といった基礎学力検査を課す。近年増えつつある形式。
--------	---

ポイント 自分自身や学びたいことに向き合えるチャンス！有効活用しよう！

学校推薦型選抜

調査書(高校成績)、志望理由書、小論文、面接、適性検査など

指定校制(特定の高校のみ対象)
公募制(すべての高校が対象)

出願時に校長の推薦が必要な入試。一定の評定平均や推薦基準を満たしていることが条件。
【指定校制】…大学が指定した高校の生徒にのみ出願資格がある。希望者が多い場合は校内選考があり、3年間の評定平均、課外活動、生活態度などを総合的に判断される。
【公募制】…どの高校からも出願できる。評定平均やスポーツの実績、文化活動、取得資格(英検など)が条件になっている事が多い。

ポイント 現役生のみ出願できる選抜！積極的に狙っていこう！

選抜型問題例

令和8年度 國學院大學 人間開発学部 公募制自己推薦(AO型)入学試験問題 小論文

著者の述べる正義の観点をふまえながら、正義に関する具体的な事例の一つとりあげ、700字程度で、正義について述べなさい。なお、正義に関する具体的な事例とは、あなたが体験したこと、あるいは、身近に見聞きしたこと、本やマスコミなどを通して知ったことなどを指します。

引用元: https://www.kokugakuin.ac.jp/2026_exam

令和8年度 お茶の水女子大学 生活科学部 心理学科 学校推薦型選抜 小論文

若い世代を中心に、インターネット依存の問題が懸念されています。インターネット依存の背景にある要因と、それを防ぐための対処法について、あなたの考えを述べなさい。

(500字以上800字以内) 引用元: https://www.ao.ocha.ac.jp/past_test/index.html

どの問題も、「該当の分野に深く興味があるか」「大学が求める学生像か」を問われています。皆さんも実際に受験生になったつもりで挑戦してみましょう！



現役で、
難関大学へ。

夏期特別招待講習

対象 | 高3生・高2生・高1生・高0生※

※高校生レベルの学力を持った中学生

7/13月までの申込で

〈高2生・高1生・高0生〉

最大20(4講座)回分無料招待※

7/21火までに申込……… 最大15回分無料招待

7/31金までに申込……… 最大10回分無料招待

※高3生は7/31金までのお申し込みで最大5回無料。
[1講座] ●90分×5回 ●講座修了判定テスト(一部受講回数異なる講座があります。)

(株)シェアードウェイ(SOUEIグループ)

東進衛星予備校

0120-104-541

[平日・祝日] 10:00～22:00
[土曜・日曜] 10:00～19:00



大学ランキングからはわからない大学の實力

第15回

教育ジャーナリスト 小林 哲夫 さん

Profile
1960年神奈川県生まれ。教育ジャーナリスト。朝日新聞出版「大学ランキング」編集者(1994年～)。近著に「日本の「学歴」」(朝日新聞出版 橋本俊詔氏との共著)。



大学で「be動詞」「小・中学校レベルの数学」を教えて何が悪い

2026年度、ある私立大学の授業「数学入門」シラバスにこんな記述がある。

■**テーマ** 中学や高校までの数学の知識を点検しながら、現代数学の理解につながる考え方を身につける。論理や集合を学習しつつ、抽象的な概念の取扱いを習得する。

■**到達目標**

1. 数の取り扱いの基本を身につける。
2. 方程式や不等式の取扱いの基本を身につける。
3. 初等関数の定義を確認する。
4. 論理と集合の取り扱いを習得する。

■**授業概要**

講義の基本手順は次の通り：

- 1) 基本概念の定義や説明
- 2) 重要な定理や公式の紹介
- 3) それらを具体的に使う例題

<以下、略>

財務省からすれば、「これらは大学教育で行う内容ではない」ということになるだろう。

今年4月、同省の財政制度分科会では大学の定員削減問題が議論され、「人口減少社会の中での総合的な国力の強化」を進めるため、次のような提案がなされた。

「2040年までに一定のペースで規模の適正化を図る場合は、国立大学の学部定員は年間1,700人程度、私立大学の学校数は少なくとも年間16校、学部定員は年間8700人程度の縮減が必要となると推計される」

2024年624校の私立大学を2040年に217～372校まで減らすという「適正化」の要請である。

そして、もう1つが学力問題だ。「四則演算から始める。少し背伸びして微分などの理解も」

「文型の基本とbe動詞の基本的な機能を整理」「定員割れ私立大学の中には小中学校・高校までに学ぶような内容の授業が行われている大学も見受けられる」。

こうした現状から、「学位取得者の一定の質を確保」するために「大学の規模適正化」を求めている。

つまるところ、「小中学校・高校までに学ぶような内容」の大学は必要ない、ということだ。

大学生の学力水準の低さに関するテーマについては、2020年代半ばのいま急に持ち上がったことではない。

2010年代、週刊誌がこんな報道をしている。◆「本当にあった『バカ田大学』 授業はアルファベットの書き方から」(「週刊ポスト」2011年11月10日号)。

記事ではシラバスとして、辞書の使い方、be動詞、小数の計算、円の面積など、が紹介されていた。

◆「文科省委員会が調査してわかった日本のアホバカ大学」(「フライデー」2015年3月27日号)

記事にはこの大学の講義「教養基礎講座」のシラバス(授業計画)が次のように紹介されている。

「日本語による表現能力の向上と基本的知識の修得を目的とします」「英語で書かれた文章を読み解く。第2回be動詞、第3回一般動詞」「数理的な考え方やその処理方法は基礎から学ぶ。第2回小数表現、分数表現。第3回不等式」。

◆「be動詞のおさらい、小・中学校レベルの数学…Fランク大学の驚くべき授業内容」(「週刊新潮」2017年1月26日号)。

執筆者の教育ジャーナリストは批判的に取り上げ、揶揄している。

「たとえば、河合塾のランキングで偏差値35の〇〇大学の「1年英語(B)Ⅰ」では、<be動詞と一般動詞・単数形と複数形>として、2回にわたってbe動詞を学んでいる。あまつさえ、この授業の「準備学習等の指示」には、「辞書を持ってくること。予習をしておくこと」と書かれている。頭が混乱しかねないので念のために申し添えるが、中学1年生への指導ではないのである」。

3つの記事ともいずれも大学は実名で記されている。本稿ではネット上でむしかえされて「二次被害」を防ぐために名前を伏せた。

財務省は「大学の規模適正化」を進めるにあたって、学力水準が低い学生が通う大学を切り捨てようとしている。

だが、こうした政策は1980年代までの大学進学率20%台の大学観から引っ張り出されたもので、2020年代半ばの進学率60%近いいま、あまりにも現状とそぐわないのではないか。

社会全体が大学卒人材を求める。全国各地に大学が誕生する。これまで高い学力を求めなかった専門職養成の専門学校や短大が四年制大学に生まれ変わる。当然、大学にはさまざまな学生が入ってきた。さらに、やっかいなのは少子化が加速したことである。人口が減っているのに、学生が増えれば、さまざま＝多様で学力にバラツキの見られる、いやこんなオブラートにつつんだ言い方はやめよう。学力水準が低い学生が増えても何ら不思議ではない。一方、大学運営を安定させるため、年内入試で学力を重視せずむりに学生を受け入れたところがあるのも現状だ。

財務省はこうした大学の現状をわかっ

てはすだが、それでも切り捨てる発想で「国力の強化」に取り組もうとしている。

財務省は役人の多くが通っていた東京大など難関大学を基準に、いまの大学を捉えるのはそろそろやめてほしい。

どこも東京大にはなれないのだから。

わたしは、前出の「本当にあった『バカ田大学』」と名指しにされた大学を訪問したことがある。シラバスの狙いについて、学長は次のように説明してくれた。

「英語や数学が嫌いな学生は中学時代の躓きで先に進めなくなったことがわかった。それゆえ、中学時代からのやり直しの必要性を感じ、中学高校レベルの学習内容が記されたシラバスを作った。私たちはそれを正直にウェブサイト公開した。同じような教育を行っている大学の中には表にしていなかったところもある。でも、私たちは隠すようなことはしない、恥じていないからだ。私たちは、勉強嫌いになった状況を放置され続けた学生を受け入れ、高等教育を受ける意欲を取り戻させることまで請け負っている」。

すばらしい教育観である。

提案がある。2年次までは教養教育の1つとして、中学高校のやり直しをある程度は認めたらどうか。学生はそれをクリアできないと3年次以降に進めない、とか。

大学の質保証を高いレベルで問うことより、基礎学力を中学高校のレベルであっても確かなものにすることが大切ではないか。大学は「be動詞」「小・中学校レベルの数学」を教えて何が悪い。これらの教育は今後ますます求められるだろう。それを前提に大学政策を考えてほしい。

杜の都の西北から

第11回

(学)東北文化学園大学評議員・大学事務局長、弊誌編集委員 小松 悌厚さん

Profile
1989年東京学芸大修士課程修了、同年文部省入省、99年在韓日本大使館、02年文科省大臣官房専門官、初等中等教育局企画官、国立教育政策研究所センター長、総合教育政策局課長等を経て22年退官、この間京都大学総務部長、東京学芸大学参事役、北陸先端大学副学長・理事、国立青少年教育機構理事等を歴任、現在に至る。神奈川県立相模原高等学校出身。



「掃除」してますか？ ボランティア先進県と山形西高等学校の「全員清掃」

山形県は、地域に根差した「ボランティア先進県」として全国的にも高い評価を受けている。地域の青少年ボランティア活動が活発であり、「山形方式」とも呼ばれている。地域の活動と相まって、学校単位での活動も盛んに行われていることが山形県の特徴である。

令和6年度に山形県教育委員会が行った調査^{※1}によると、県内の高校生が在学中にボランティア活動を行った割合は74.7%にのぼる。その中でも、ゴミ拾いや清掃といった「環境整備」の活動を経験した生徒は38.7%と最も多く、地域の美化に多くの高校生が貢献していることが分かる。山形の高校生にとって、身近な街を自らの手できれいにする経験は、地域への

愛着を育むきっかけにもなっている。そのため、県内の高等学校では教育活動に清掃活動を積極的に取り入れている。

例えば、県の将来構想・キャンパス制に基づく連携関係にある県立長井工業高校と荒砥高校は、毎日の通学手段となっている山形鉄道の駅舎や車両の清掃活動を行った。また、寒河江高校は谷地高校と共同で地域のまつり閉幕後に街の清掃ボランティアを行い、加茂水産高校は海への感謝の気持ちを込めて海浜清掃に励んでいる。榎山高校は、地域の防犯と環境美化に取り組む「パトラン」^{※2}を積極的に導入している。また、ごみ拾いの質と量を競い合う「スポGOMI甲子園」^{※3}にも多くの高校が参加している。駅やローカル鉄道、伝統のまつり、豊かな海など、山形県内ではそれぞれの学校が身近な地域の特性を活かしたユニークな清掃活動を日々展開し

ている。

このように、山形県の地域活動の精神的支柱には、環境美化に向かう伝統を見ることができる。その精神が培われた要因として、山形の学校教育が清掃を重視してきたことが挙げられる。それを窺い知るヒントとなるのが、古くからの清掃の伝統を継承している山形西高校の活動である。128年の歴史を誇る同校では、「全員清掃」の取り組みが長年受け継がれてきた。同校では「放課後」ではなく、5校時と6校時の授業の間に約20分間の清掃時間を設けている。生徒は全員参加で、伝統的に心を磨く取り組みの一つとして丁寧な校舎清掃が行われている。清掃を授業と同様に重んじる背景には、同校の活動が「親睦友愛」と「切磋琢磨」を意味する「嚶鳴(おうめい)精神」に貫かれていることがある。先に紹介したスポGOMI甲子園

において、2025年山形大会で優勝したのも山形西高校のチームだった。

各校の個性豊かな取り組みや山形西高校に代表される伝統は、単なる美化活動にとどまらない。清掃を通じて郷土を愛する心を育み、自らの人間性を磨くという山形の教育精神は、地域の青少年活動の基盤になるだけでなく、形を変えながら次世代へと受け継がれている。地域と学校が一体となって紡いできたこの精神こそが、これからの山形を支える大きな財産となるに違いない。

※1 令和6年度「山形県高校生のボランティア活動実態調査」山形県教育委員会 令和7年1月

※2 パトロール+ランニングの略称で、ランニングをしながら、街のゴミを拾ったり地域の危険なところがあれば当局に知らせる全国的な活動。榎山高校では2025年だけで20回以上実施している(同校のWebサイト参照)

※3 正式名称は「海と日本プロジェクト スポGOMI甲子園」高校生が3名でチームを組み、60分間で予め決められた競技エリア内のごみを拾い、その質と量を競い合うスポーツ。2025年全国42都道府県で実施された。優勝校は都道府県代表校として全国大会に参加する。(一般財団法人日本財団スポGOMI連盟のWebサイト参照)

トピックス 高校生や高専生が、自分のアイデアを社会に向けて発信する。そんなピッチコンテスト※が、大学を舞台に広がり始めている。近畿大学がオープンキャンパスに合わせて実施する「START LINE PITCH 2026」には、初回にもかかわらず全国から約600件近い応募が集まった。協力するのは、昨年7月に近畿大学と戦略的連携協定を結び、開学以来「起業の大学」を掲げてきたiU 情報経営イノベーション専門職大学（以下iU）。なぜ今、すべての高校生に開かれたコンテストなのか。近畿大学常任理事の世耕石弘さんと、iU副学長の古賀稔邦さんに聞いた。

※短時間でビジネスプランを審査員や投資家にプレゼンして競うコンテスト

START LINE PITCH 2026

近畿大学 高校生ビジネスアイデアコンテスト

今夏いよいよ開幕！

(webタイトル:近畿大学が、起業家育成教育と仕掛ける新しい「高大接続」のためのピッチコンテスト)

——はじめに、戦略的連携協定のきっかけの一つが起業家育成教育での連携でしたが、まず両校の起業家育成の現在地※をお聞かせください。2年連続『起業率』トップのiUさんはいかがでしたか？

古賀 おかげさまで『学生ベンチャー数』では9位、『学生ベンチャー率ランキング』では学生数が比較的少ない事もありますが、9.31%とこれは3年連続1位をキープしました。

世耕 さすがですね。本学はすべての指標で上向いていて、『大学発ベンチャー数』では10位、『学生ベンチャー数』では3位でした。

※2026年6月発表、経済産業省「令和7年度大学発ベンチャーの実態等に関する調査」の結果から

——起業家育成教育の一環として、近畿大学ではこれまで近大生・附属高校生対象に近大ビジコンを実施してこられたと思いますが、今回、高校生、高専生を対象にオープンコンテストをはじめられた理由は何でしょうか。



世耕 これまで

は大学生の起業支援に意識が向いていて、高校生にまで目が届いていたわけではありません。ようやく学内の取組が軌道に乗ってきたと判断し、オープンキャンパスに集まる高校生に、コンテストの舞台を用意したいと考えました。高校生が参加できる開かれたピッチコンテストはいくつもありますが、大学が主催するものを増やせば、全体的に参加のハードルが下がるのではないかと考えています。

——高校生にとっては、企業や団体の主催よりも、大学主催の方が参加しやすいということですね。

世耕 そうです。16歳、17歳の生徒が、企業・団体に個人情報を送って応募するのは勇気がいる。その点、大学主催だと、本人や保護者、高校の先生も安心ですし、これも大学の役割の一つではないかと思っています。

古賀 高校では探究学習が広がり、自分たちで調べ、考え、発表する機会が増えています。ビジネスモデルを考えたり、起業を構想したりするのはそれと非常に相性がいいのではないのでしょうか。iUでも高校からの要請を受け、教員が出向いて、「どうすれば社会課

題を解決できるか」の授業に協力することがあります。

——今回、応募はどのように広がったのでしょうか。

世耕 近畿・西日本を中心に、これまでの高校とのつながりを活かし、関係部署が直接案内したり、郵送やウェブで告知するなど、短期間でしたが、できることは全てやりました。ただ、初の公募ということで、どのくらい集まるかは不安でした。蓋を開けてみると、全国から約600件近くの応募があり驚いています。先生方や生徒さん自身が、起業に対してかなりアンテナを張っていることもわかりました。

古賀 iU側でも、学生募集のスタッフが高校約600校にチラシを持って説明に出向きました。通常の募集活動に加え、近畿大学さんと連携していることを高校の先生方に伝えられ、とても有意義でした。

——応募内容にはどのような傾向がありましたか。

世耕 ざっと見た印象ですが、社会課題の解決をテーマにしたものが多いですね。かつての起業には、「社長になりたい」「お金持ちになりたい」という動機によるものが多かったイメージがあります。でも今の高校生や大学生は、授業や探究活動を通じて社会課題に触れることも多く、ボランティアだけでなく、事業で解決しようという発想を自然に持てるのではないのでしょうか。

古賀 同じ印象ですね。以前は株式公開したい、というような動機が目立っていた印象がありますが、今は本当に社会課題を解決したいという思いが前に出ている。女性を取り巻く課題など、自分の身近な問題から出発しているケースも多いのではないのでしょうか。

——起業に興味を持つ高校生が増えていく背景には、社会の変化もありそうですね。

古賀 生成AIの台頭によって、ホワイトカラーの仕事にも変化の兆しが見えています。高校生も、「会社に入れば安泰」という時代ではなくなりつつあると感じているのではないのでしょうか。何が安定的な人生なのか分からない時代だからこそ、自分で何かを生み出す力が必要だという感覚が広がっている気がします。

世耕 もっとも大学生全体を見ると、やはり多くはまず新卒で就職すること

学生ベンチャー数ランキング TOP10

2025年度・大学別		
順位	大学名	企業数
1	慶應義塾大学	205社
2	東京大学	196社
3	近畿大学	110社
4	京都大学	107社
5	早稲田大学	88社
5	デジタルハリウッド大学	88社
7	立命館大学	86社
8	筑波大学	73社
9	情報経営イノベーション専門職大学	61社
10	東京理科大学	43社

出典：経済産業省「令和7年度 大学発ベンチャーの実態等に関する調査」より作成

を考えます。だから本学では、「全員起業しなさい」とは言っていません。ただ、学生数が多いので、起業に関心を持つ学生がたとえ全体の5%でも、大きな人数になります。ですから起業したい、あるいはそういうマインドを持っている学生さんを支援することはとても大事です。就職も起業も、どちらの選択肢もきちんと支えたいですね。

古賀 「全員起業！」を掲げてきたiUですが、卒業生の多くは就職します。しかし起業家マインドを身につけておけば、組織の中でも役立ちます。自分で選んだ道に向かって、主体的に動けるからです。

——近畿大学のある東大阪は、モノづくりのまちとしても知られています。起業家育成教育には適した立地だと思いますが。

世耕 東大阪は「中小零細の町」と言われることもありますが、私はむしろ「起業の町」だと思っています。ゼロから会社を立ち上げ、人を雇い、事業を発展・継続していく。扱う製品も、テレビ部品から携帯電話部品へといったように、時代に合わせて、しぶとく、環境変化に対応してきた。この精神には、今の高校生にも伝わるものがあると思います。

——今回のコンテストは、入学者の選抜にも関係するのでしょうか。

世耕 本学には起業型の総合型選抜を行っている学部もあります。もちろんコンテストで上位に入ったからといって、それだけで合格が決まるわけではありませんが、ピッチコンテストで評

学生ベンチャー率ランキング TOP10

2025年度・上位20校内集計		
順位	大学名	学生ベンチャー率
1	情報経営イノベーション専門職大学	9.31%
2	デジタルハリウッド大学	5.90%
3	会津大学	2.31%
4	東京大学	0.68%
5	サイバー大学	0.67%
6	慶應義塾大学	0.61%
7	京都大学	0.48%
8	筑波大学	0.44%
9	東京科学大学	0.30%
10	近畿大学	0.29%

※学生ベンチャー率＝学生ベンチャー企業数÷学生数
※本ランキングは、学生ベンチャー数が掲載された30校を母集団として算出し、その中で率の高い順に並べたもの
出典：経済産業省「令和7年度 大学発ベンチャーの実態等に関する調査」および各大学公表の学生数より作成

価された経験が有利に働く可能性はあります。ちなみに最優秀賞受賞者は一次審査を免除※されます。

——最後に、今回はエントリーボタンを押さなかった高校生にメッセージをお願いします。

古賀 何かに挑戦するために、自分で考えをまとめて応募する。それ自体、とても得がたい経験です。高校生活には楽しいことがたくさんあると思いますが、一つの目標に向けて頑張ることは、将来への大きな糧になるはずですよ。ぜひ挑戦してほしいですね。



「大学に入ってから」「就職してから」ではなく、高校生のうちから社会の課題を見つめ、自分のアイデアを言葉にしてみる。そこに、これからの学びと進路の新しい可能性がある。起業は特別な誰かだけのものではない。小さな勇気から始まる、未来への選択肢なのだ。（6月18日@近畿大学インキュベーション施設「KINCUBA Basecamp」）

「大学に入ってから」「就職してから」ではなく、高校生のうちから社会の課題を見つめ、自分のアイデアを言葉にしてみる。そこに、これからの学びと進路の新しい可能性がある。起業は特別な誰かだけのものではない。小さな勇気から始まる、未来への選択肢なのだ。（6月18日@近畿大学インキュベーション施設「KINCUBA Basecamp」）

「大学に入ってから」「就職してから」ではなく、高校生のうちから社会の課題を見つめ、自分のアイデアを言葉にしてみる。そこに、これからの学びと進路の新しい可能性がある。起業は特別な誰かだけのものではない。小さな勇気から始まる、未来への選択肢なのだ。（6月18日@近畿大学インキュベーション施設「KINCUBA Basecamp」）

※ 近畿大学経済学部 総合型選抜C(起業志向型)1次審査免除について
対象:「最優秀賞」(1組)最大3名(最終プレゼン登壇者に限る) 補足: 2029年度(令和11年度)入試まで有効。
ただし、当該入試制度の見直し等により入試制度に大きな変更や廃止等があった場合は、事前の通告なく本権利が失効する場合があります。

START LINE PITCH 2026 (近畿大学 高校生ビジネスアイデアコンテスト)

開催日時：2026年8月23日(日) 13:00-16:00(12:30開場)

開催場所：近畿大学 東大阪キャンパス 11月ホール3階(小ホール)

それ、あたらしい？
それ、おもしろい？

iU

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」
テクノロジー×ビジネススキルで、社会を、世界を変える大学

情報経営イノベーション専門職大学、通称『iU』は、
ICTやビジネススキルを活用して社会課題を解決する
エンジニア、コンサルタント、起業家として、
世の中に新しいサービスやビジネスを生み出すイノベーターを育成しています。



学校法人電子学園

情報経営イノベーション専門職大学

情報経営イノベーション学部・情報経営イノベーション学科

〒131-0044 東京都墨田区文花1-18-13 Tel 03-5655-1551

<https://www.i-u.ac.jp/>

